

JARQ 編集方針

1 趣 旨

Japan Agricultural Research Quarterly (JARQ) は、我が国の農林水産業に関する試験研究及び我が国の研究者が関与する国際共同研究の成果・動向等を、原著論文及びレビューなどを通じて、広く内外に紹介することを目的とする。

2 記事の区分

次の区分による原稿を編集掲載する。

1) 原著論文 (original articles)

著者が行った研究に基づく成果をとりまとめたもので、内容などで他に前例のない論文。

2) 研究レビュー (research reviews)

著者が行った一連の研究、あるいは近年関心の高い事項に関し、関連をもって実施されている研究報告も含め、研究のねらい、成果及び意義等についてレビューし、あわせて今後の展望をとりまとめたもの。

3 掲載候補原稿の受付

1) 編集幹事は、次による原稿を受け付ける。

- ① 我が国の農林水産業に関わる試験研究の成果等（我が国の研究者が海外において行った研究も含む）についての上記2. 1) 及び2) の区分による研究者からの自主的投稿によるもの。
- ② 以下の推薦手続きに基づくもの。
 - (1) 編集委員が専門分野に応じ、上記1. の趣旨に沿う論文の候補を、上記2. 1) 及び2) の区分に基づき、編集委員会に推薦する。
 - (2) 編集委員会（必要に応じ持ち回り審議も可）が、上記の推薦を承認する。
 - (3) 推薦を行った編集委員が、当該研究者に投稿を依頼する。

2) 上記①及び②の受付は、国内の研究者が関与した研究成果などに限る。

3) 原稿の内容は投稿の受付月日において、他の出版物にすでに掲載あるいは投稿されていないものに限る。

ただし、科学コミュニティにより認知されているプレプリントサーバー上で公開した内容を含むものについても投稿を認める。その場合、責任著者はその公開先を新規投稿時の原稿送り状で申告しなければならない。当該原稿については編集幹事長が公開先と公開内容を精査の上、受付の可否を決定する。投稿時に申告がなく、後から公開済みの事実が判明したものに関しては、編集幹事長の判断により審査を中止または掲載を撤回する場合がある。なお、査読を経て修正された原稿、出版のために受理された原稿、本誌に掲載された原稿は、プレプリントサーバーに掲載してはならない。また、本誌に掲載された原稿へのリンクをプレプリントサーバーに掲載することを求める。

4 審査と掲載の可否

1) 編集幹事は、掲載候補原稿の分野に応じ、適切と思われる編集委員に審査を依頼する。

2) 編集委員は、原則として査読者2名を選定する。

3) 査読期間は原則として第1回目を4週間、2回目以降を2週間とする。

著者による原稿修正期間は、原則として2週間とする。2週間を過ぎて提出が無い場合、事務局が遅延理由を確認し、正当な理由が無い場合は「著者による取り下げ」扱いとする。

4) 編集委員は、当該掲載候補論文について審査の責任を負い、その結果を編集委員長（担当：編集幹事長）に報告する。また、編集委員は必要に応じて別途、査読者を依頼し、意見提出を求めることができる。その場合は、当該査読者名もあわせ、編集委員長に報告する。

5) 編集委員長は、上記4) の報告に基づき、投稿論文の再考または不採用を決定することができる。

5 記事の取り扱い

- 1) JARQに掲載された記事に関する著作権は、国際農林水産業研究センターに帰属する。
- 2) JARQの全文について、JIRCAS ホームページ及びJ-STAGEを通じインターネットで公表する。

6 刊行

JARQ誌は、原則として年に4号発行する。

2014年7月24日改訂

2017年7月27日改訂

2020年4月1日改訂

2021年8月2日改訂

2025年3月12日改訂